

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス エミフル		公表日		令和8年3月1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・適正な人員配置は実施しているが、余剰な職員の配置が必要と感じる時があるので、職員の募集をしている。	・非常勤で14時～勤務してくれる人がいればさらにいいと思う。 ・足りないわけではないが、パート及び常勤職員の補充が出来たらしてほしい。 ・その日によるが、職員が足りないと感じる日もあり、フリーな職員も必要と思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・子どもたちが過ごしやすいような環境設定を行っている。必要に応じて設備の改修も行い、より安心、安全に過ごせる事業所作りを目指している。	・賃貸のためバリアフリー化は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・効率的に掃除ができるよう清掃方法の見直しを行っている。また、外部研修などにも参加し健康管理に結び付く環境整備も大切にするよう心がけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・部屋数が少ないが、少ない中でも個別の対応をする工夫はしている。	・個室はあるが、完全に仕切られていないので工夫が必要。 ・個別活動が出来る部屋が必要であり部屋数ももう少し欲しい。 ・個別活動やクールダウンの場として使用できるように相談室を設けているが、部屋数や相談室自体の環境を整えることは引き続き検討していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・子どもに関する情報は毎日のミーティングや月1回の会議で共有し改善している。	・子どもに関する情報以外の業務内容もしっかりとPDCAサイクルに基づいて改善していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・自己評価結果を基に改善点を話し合い、次年度の支援の改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・会議以外にも日々の業務の合間に時間を設けている。 ・ミーティングや会議では職員が意見を話す機会はある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・外部のアドバイザーはいるが、外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・今年度は外部研修への参加が増え、職員1人ひとりの専門性向上に努めることができた。	・園内研修の充実化を図りたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援プログラムはホームページにて公表している。利用児、保護者への周知も継続して行っていきたい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・半年に一度保護者と面談を実施している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員全体で会議をして上で作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・定期的に振り返りをし、計画に沿った支援をしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・アセスメントや日々の記録を基に振り返りをしている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に各項目をのせ、保護者も同意のうえ設定をしている。</li> <li>・5領域を意識した支援内容を設定し、職員間の会議等で周知している。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週案や週目標を職員全体で話し合っている。</li> <li>・担当のスタッフから週案の内容の確認と改善事項がないかの報告をしている。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの活動内容も大切にしながら新たな取り組みや活動プログラムの検討、導入を行い活動内容が固定化しないよう工夫した。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動に組み込む機会を増やし、より個々の課題に向き合う時間が作れるよう工夫した。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で支援内容について共有している。</li> <li>・担当の職員から週案の内容の確認と改善事項がないかの報告をしている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り複数の職員で振り返りを行い、その内容を全体で共有することで課題が明確になるよう工夫している。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ケース記録の記入を行っている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングを基に計画内容について改めて話し合いをしている。</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人と関わる機会や公共の場での活動を増やすなど、自立に向けた活動を積極的に行った。また、活動内容に偏りが出ないようなスケジュールの調整なども行っている。</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や個々の特性に応じて「選ぶ力」を養えるような活動に組み込み、自己決定、自己選択ができるよう配慮している。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達管理責任者及び職員1名が必ず参加し、日々の様子を共有している。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて情報共有の場を設けている。</li> <li>・必要に応じて学校等と情報交換会を実施している。</li> </ul>	・必要に応じて連携はしているが、十分ではない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用児が年1回は学校との情報共有を行い、そのほか必要に応じて適宜実施するようにしている。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度新規利用時の際に実施した。</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		・まだ前例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターが開催する研修に参加するなど、地域の児童発達支援センターと連携が取れるようにしている。</li> </ul>	・児童発達支援センターとのつながりがあまりない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・機会を設けたいと思っはいるが、現実的に難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者を中心に参加している。</li> </ul>	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の様子を連絡ノートや送迎時に伝えるようにしている。</li> </ul>	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への参加を促している。</li> <li>・必要に応じて実施して行きたい。</li> <li>・ペアレントトレーニングなど具体的なことはしていない。</li> </ul>
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約時に保護者に説明をしている。</li> </ul>		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面談や日々のやりとりを大切にしている。</li> </ul>		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談時に保護者や本人のニーズを確認してうえで作成している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者からの相談については、放課後等デイサービスとしての役割に沿ってできることを伝えるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・夏祭りやFAMILYDAYといった保護者と兄弟参加型の行事を開催している。 ・父母会ではないが、保護者同士や兄弟の交流する機会は設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるよう体制を整備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・定期的に事業所通信やブログなどで情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・契約の際にアンケートを実施し確認をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・特性に応じて情報が伝わりやすい環境を作るよう配慮し、双方の認識に違いが生じにくいようにしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・地域の老人クラブとの交流や近隣の農地でのりんご栽培などを行っている。 ・また、お世話になった方を招待した事業所のイベントも開催した。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・想定されるケースを中心に独自のマニュアルを作成している。 ・各マニュアルの周知と感染症対策としての模擬研修等を実施している。	・策定してはいるがまだ不十分なところもあり、保護者に対する周知はまだ不十分である。 ・マニュアルは策定しているが、その時の社会情勢などを考慮し随時更新していきたい。 ・訓練の内容も内部研修などを活用し、充実したものにしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎年度作成したものを各委員会周知し検討している。	・職員全員が内容をしっかりと把握するとともに、各委員会や係ごとに意味のある活動が実施できるよう工夫を続けていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約の際にアセスメントを実施している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約の際にアンケートを実施し確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・安全計画を策定し、災害時の訓練と同様に年に2回の訓練を実施している。	・安全計画は策定しているが、防災関係と混同している部分もあり、同じような研修や訓練は実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・災害発生時メール等で対応するため、保護者に対しメールの一斉送信を実施した。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・毎月の会議で報告し、振り返り、検討し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止の研修に参加したり、園内研修を実施し周知している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	・身体拘束についての書類については、来年度に向けて整備中であり、保護者に対しても説明をする予定。	・身体拘束に対して事業所の方針がまだ不確定であり、規程を早急に整備する必要がある。